

今月の概要（青果物）	
野 菜	入荷量は、台風以降の好天による前倒し出荷と、中旬以降の低温もあって、全体として、前年同期を 3 % 下回った。 価格は、重量野菜の消費が伸びず、全体として、前年同期を 4 % 下回った。 品目別には、長大根、ばれいしょは、北海道、徳島産が生育期の台風被害や、天候の回復による前倒し出荷で入荷が減少したものの、長崎産が好天による前進出荷で入荷増となったため、ほぼ前年並みの入荷となり、価格は、消費が伸びず、前年同期を下回った。 ほうれんそう、レタス、かぶらは、生育が順調で、入荷増となり、価格は、前年同期を下回った。 葉菜類は、入荷が減少し、単価安となった。 果菜類は、入荷、単価ともにほぼ前年並みとなった。 根菜類は、入荷が減少し、単価安となった。 土物類は、入荷が増加し、単価安となった。
果 実	入荷量は、主力のりんご、みかんが生育期の天候不順の影響により入荷減となり、いちごで新品种への切り換えによる入荷増があったものの、全体としては、前年同期を 11 % 下回った。 価格は、果実全般の入荷減の影響によって、前年同期を 24 % 上回った。 柑橘類は、入荷が減少し、単価高となった。 りんごは、入荷が減少し、単価高となった。 メロンは、入荷が増加し、単価安となった。 いちごは、入荷が増加し、単価高となった。